

KSKQ

出会い  
ふれあい  
助け合い

VOL.280

# サロンのあべの

「サロン・あべの」9月の出会い  
ましよう」

平成21年9月19日(土)の育徳  
コミュニティセンター2階研修  
室にみなさんの元気な歌声がいっ

ハーモニカの伴奏で――

懐かしい

童謡♪唱歌を

歌いましょう



ばいに広がりました。

ハーモニカ奏者の安田隆廣さん  
と川坂秩代(ちよ)さんを招いての「サロ  
ン・あべの」9月の出会いは、題  
して「懐かしい童謡♪唱歌を歌い

ラスト・解説・エピソードなどを  
記したオリジナル小冊子をお配  
りしています。これにそって進め  
ていきたいと思えます。

安田さんは、小さいころから  
ハーモニカに親しんでいました  
が、60歳を越えてメンバーを集  
めてハーモニカサークルを作り、  
指導されたり、あちこちポラン  
ティアで演奏活動をされていま  
す。今日はサークル仲間の川坂  
さんといっしょにお越しいた  
きました。

なお、今日の進行は(石)が務  
めさせていただきます。

今日は安田隆廣さんと川坂秩  
代さんのハーモニカの伴奏で童  
謡をいっしょに歌いたいと思  
います。とはいっても、日本の童  
謡や唱歌の数は千や2千ではき  
きません。それで、勝手ですがあ  
らかじめこちらで選曲させてい  
ただきました。

四季を巡りながら誰もが知っ  
ている曲を選んで、その歌にイ



安田隆廣さん(左)と川坂秩代さん

と川坂秩代さんのハーモニカは静  
かに間奏を奏でます。

さて、今日は19日、9月も中を  
過ぎますと秋の気配を感じた虫

たちが鳴き始めます。

♪虫のこえ

冬来たりなば、春遠からじ。

♪春よ来い

あります。

♪肩たたき

ひと休みしたあと、みなさんからのリクエストも交えてまだまだつづきました。

深まる秋とともに温かい囲炉裏端が恋しくなります。

雪もとけ水温むころになると、虫たちもはい出してきます。

1年1度の逢瀬、晴れることを祈ります。

♪船頭さん  
♪てるてる坊主

♪里の秋

♪春の小川

♪たなばたさま

♪青い眼の人形  
♪汽車ポッポ

山の木々が色づき秋本番。

桜満開の隅田川のほとり、ほんのりと歌い上げます。

日中の温度が30度を越えてくると水が恋しくなります。

♪故郷

♪紅葉

♪花

♪われは海の子

♪赤とんぼ  
♪村祭

♪月の砂漠

紅葉前線が南下し終えるともう師走。大人は年越しの準備に大忙しの横で、子どもはこの歌でお正月を待ちます。

日本の春を散策しているうちに、海を越えたドイツにも春が…。

ちようど今の時間睡魔が襲ってきます。

お2人のハーモニカのきれいな音色とみなさんの歌声が一体となり、味わいのあるほのぼのと

♪お正月

♪ローレライ

♪金魚の昼寝

した歌詞カード冊子とともに、心

都会での雪は珍しいだけにせめて歌で味わえれば。

抜けるような青空を、子どもたちの健康を願って鯉のぼりは雄壮に泳ぎます。

眠気覚ましに元気よくドーンと打ち上げますか。

も体も温かくなった(サロン・あべの)9月の出会いでした。

♪雪

♪鯉のぼり

♪花火

(参加者34名 山村貴司)

冬のスポーツといえば、何と

母の日に「肩たたき券」「お手伝い券」をプレゼントされたとい

秋の虫のこえを聞いて1年、夏の花火が上がったところで、お

いは、市民フォーラムおおさか09

♪スキー

う微笑ましい話を聞いたことが

茶にしましょう。

の協働事業に参加しています。

59



## 邦子、 ..ん歳の手習い。

### ポール・モロー氏の自立生活②

前回に引き続き、1989年の私の夫のインタビュー記録をもとにポールさんのお話をします。

高校卒業後、はしごからの転落事故により頸椎損傷の重度障害者になったポールさんは、8カ月の入院生活と7年間の施設生活の後にコネティカット州からカリフォルニア州のバークレー大学に入学し、自立生活を始めました。大学卒業後はボランティアのカウンセラーとして活動しながら自立生活を送っていました。

ポールさんは、事故の前に働いていたので、生活保障として、障害保険からの月額584

ドルと補足保障給付からの39ドルが支給されていきました。家賃は327ドルで、そのうち3分の2は公的な住宅援助がありますが、残りの3分の1の109ドルを生活保障費から支払わなければならないので、残りの約500ドルが生活費となり、食費を含めて生活は厳しいということでした。彼は食費を含めて切り詰めた生活をしていましたが、時々、友達とキャンピングカーで出かけていっしょに食べたりのことがあるそうです。しかし、その時は材料費だけですむので、お金はそんなにからないということでした。日常生活は介助犬といつもいっしょで、家において本を読んだり、コンピューターを使ってものを書いたりして過ごしています。介助犬は物を拾ったり、彼の防衛にも役立つということでした。また、介助犬といっしょに外出している時に、友達や女の子と出会ったりすると、「わー可愛い犬。名前は？」と尋ねられて、話しかけてもらうきっかけにもなるそうです。

ポールさんの介助時間は1日約6時間で、月額1062ドルの介助料が支給されています。介助料は1カ月分まとめてもらえますが、介助者には、書類に介助時間数と値段を記入してもらい、彼が毎月役所に提出するということ厳格なものだということです。介助者との関係について、彼は次のように語っていました。

「一番大切なのは人間関係です。介助者はありとあらゆる階層の人や生活の人が来るから、

どういふ風につきあうかということを知っておくことが大切です。僕は、どんな人ともやっつけていくのが上手い方だと思っています。例えば、先ほど来ていた女性は、2年前にお金を払って介助してもらった人だけれども、その後も友達として来てくれています。お金を払って働いてもらっただけでなく、仕事をしている間に友達になれたら、向こうも仕事しやすいし、こちらも仕事をしてもらいやすい。お金だけで働いているというのではなく、仕事をやっていこううちに友達になっていったら、人のつながりもできてきます。人への配慮としては、話しの共通項を見つけることが大切です。また、人によつては、好き勝手なことをいう人が多いから、そういうことも我慢して聞いてあげること大切ですよ。僕の場合は介助者が2年、3年と長く働いてくれるので、お互いの共通項を探す苦労もなく話ができます。しかし、来るべき時間に来ない介助者は困るので、解雇することもありません」

ポールさんの生活は、経済的には厳しいですが、友人関係を大切にしながら、介助犬といっしょに生き生きと自立生活を送っているようでした。また、同じアパートに住む兄弟だけではなく、隣人たちも時々食事を届けられるということで、地域の人のつながりや友達が彼の自立生活をさらに豊かにしてくれているようでした。

(定藤邦子)

## 癒したい人の卑しさ



いまから書くことは、かなり毒を含んでいる。少なからぬ読者からお叱りを受けるかもしれない。しかし、ここ数日つづけて、それを考えさせられることがあった。福祉にかかわる者の一人として自戒をこめて書いている

のだと大目に見ていただきたい。

それは「癒したい人の卑しさ」ということである。「卑しさ」とは言い過ぎかもしれない。しかし、語呂が良いから、そうしておこう。

人を癒したいと考えている人がいる。そういう人すべてではないが、そのなかには人として卑しい心持ちをしている人がいるということだ。そういう人たちは自分では気づいていない。人を救いたい、あるいはすでに救っているという自負があるし、またその姿勢が社会的に評価されていると思いきや、余計にその卑しさが目立ってくる。

思いつくままに、そういう人の様子を描いてみよう。

ある人は誰かを癒したいと思っているから、自分よりも弱いと思える人を探している。誰か傷ついている人はいないか、血を流してうずくまっている人はいないかと目を皿のようにして周囲を見回している。

そして、そういう人を見つけたら、嬉々(きき)として近づく。その前まできたら、心の底からわき上がってくる喜び(人を癒せるという喜び)からくる笑顔を無理にでも消そうとする。この笑顔を消すことは訓練をして学んでいる。結果として、心配そうに眉をひそめた「作り憂(うれ)い顔」が浮かび上がる。普通の人は「作り笑い」しかできないが、こういう人は「憂い顔」さえ作ることができるのである。

そして「泣いている人」が、そのまま泣いてくれたら嬉しいし、まして、自分の腕のなかで大声で泣いてくれたら、これに勝るものはない。そのあと「泣くことができてすつきりしました」と言われたら、その脳裏にイエスと荒野に捨てられて泣き叫ぶ人が出会う絵が重なり、それこそ天にも昇る気持ちになるだろう。「癒し人」の冥利に尽きるというものである。

しかし、その泣いていると思った人が思いがけなく力強い声で答えたなら、「癒したい人」は戸惑うだろう。彼は「強い人」よりも「弱い人」を求めている。ときには「弱い人」

お 知 ら せ

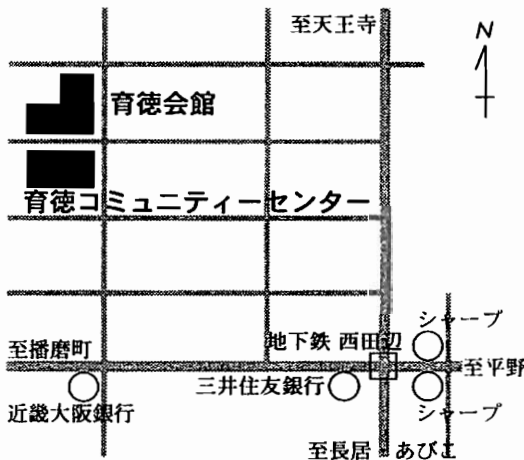
<サロン・あべの> 11月の出会い

内 容…出会いに感謝して  
 —Mai・スウェーデン留学記から—  
 お客さま…清原 舞さん  
 (桃山学院大学院博士後期課程社会研究科  
 応用社会学専攻1年)

日 時…11月21日(土) 午後1時～4時  
 場 所…育徳コミュニティーセンター2階  
 研修室(スロープ・車いすトイレ有)  
 大阪市阿倍野区阪南町 5-15-28  
 TEL 06-6621-1901  
 最寄り駅= 地下鉄御堂筋線「西田辺」(エレベーター有) 下車すぐ

会 費…なし  
 問い合わせ先…  
 TEL 06-6691-1028 (富田慶子)

…  
 <サロン・あべの> 11月の出会いは市民フォーラムおおさか09の協働事業に参加しています。



を求めるあまり、人の弱いところを暴(あば)き出し、「ほら、あなたにはこういう弱さがある」と指し示す。それで相手が自分を「弱い」と認めたらそれを喜んで慰め、認めなかったら「強がつている」と非難する。

彼は癒そうとする相手と自分とは「対等だ」と口では言うものの、慈父あるいは慈母のように一段上から見ているつもりで、本当のところは自分の優位を信じて疑わない。そして一度でも自分が「癒した」と思う相手が、

その後どれほど飛躍しても、あればかつて自分が癒した者だと公言し、その人がいつまでも感謝し、自分の前に頭(こうべ)を垂れることをどこかで期待している。

言葉と笑顔だけで癒すのは、もともとは宗教者の仕事であったはずだ。そして宗教者は神仏の道具として人を癒していたのであり、それを自分の力とは思っていない。思えない。それを自分の知識や技術や才能で癒すことができると思うから人品の卑しさが際立つ

【訂正】前号・本欄の見だしを「先生」についてのないしよ話に訂正します。

誰かを癒したいと他人(ひと)の涙を探す人に憤(いきどお)っている人は存外、少ない。苦悩を自らのものとして受けとめている人は誰かに癒されることを待っているわけではない。その耐える姿に敬意を払うことが、まずは求められるのだろう。(知)

中村かずみ

## 家族でアメリカ!

### ケンタッキー州滞在記

—2—

「牛乳がデカイイ!」

「スイカも! わ、洗剤も!」

子どもたちをスーパーに連れて行くと、まずはサイズで大騒ぎでした。牛乳パックは1ガロン(3.8ℓ)、洗剤も150オンス(4.2kg)が通常サイズ! 到着して、いの1番に買い求めたワゴン車(中古フォード)の荷台は、買い出しのたびに満杯でした。

近所にも大通りを渡ると洒落たスーパーがあり、歩いて買い物行かれました。でも青信号は短く、高速の車道との間にガードレールもない歩道が怖くて、近くでも車で行きたい店でした。道が歩くために出来

ていないのです。近所の公立校に出向き、定員だから無理、と転入を断られたのには驚いてしまいました。これも子供が1人で歩いて通う日本と、考え方が違うことによるようです。

レキシントンでは、子供は歩いて登校しません(市街地や、余程近所なら別ですが)。

車送迎やスクールバスを利用するのなら、ちよつと遠い地区だって大丈夫ということなのでしょう。結局、車で15分ほどの、主人の仕事場方面の小学校で手続きをすることになりました。長男カズキの中学校も同じ方向にあります。受付で名前や住所を書かされながら、「実は……」と自閉症(autism)だと切り出すと、「OK!」と書類をもう1枚くれて終わり。こちらは拍子抜けするほど簡単でした。

#### ☆転入の手続



デカイ! 牛乳とピーマン



農場でとってきた大カボチャをくりぬいてハロウィンのランタンを作りました

小、中学校どちらも、まずツベルクリン(結核検査)と英語力テストが必要です。その結果でESL(English as Second Language) Ⅱ英語以外が母国語の子供をサポートするクラスに行くのかを決めるのです。3人とも書けたのはおそらく名前とABCだけ。ここでは健康な弟妹も障害児カズキも、同じく「英語の出来ない子」なのでした。障害児向けの面談もありました。大きな黒人の博士と差し向かいで、積み木などお馴染みの発達検査です。黒い肌が珍しかったか、カズキは課題そっこのけで博士の顔や手を撫で、それも



農場でとってきた大カボチャ

しつかり採点されていました。そして、博士と学校と保護者（&カズキ）との面談日が設定されます。転入する障害児1人のために、10人で会議が行われるのです！ 日本では、入学前の面談といえただの顔合わせでしょう。なのに米国では、カズキの能力や親の要望を、あちらから熱心に訊ねてくれることに驚きました。結果、養護学級で教わる内容や達成目標、付き添いの手配などが決まりました。

た。またすべての面談には秘書が同席して内容をタイプ、後日分厚いレポートをいただきました。転校・進学時にはこれを持って行けばいいそうです。もちろん書類より、実際に接する方がよく分かるでしょう。また面談も、回を重ねるうちに簡素になりましたが、話し合いが出来るだけでもかなり満足でした。他に担当博士の家庭訪問もあり、生育歴から聞き取りを受けました。あちらはお仕事でも、こちらは可愛いわが子の昔を語れるめつたにない機会。実に楽しい時間でした。ちなみに、希望すると学校が通訳を呼んでくれるので何度かお願いしました。自闭症などの用語は馴染みのない方でも、会議中に日本語で話せるのはやはり安心です。

話を戻して、結核検査はカズキが陰性で問題なし。コウジとサキは陽性（日本の子供は普通そうですよね）でちょっと揉めましたが、レントゲンの結果健康ということで通学許可に。サキの日記によりますと、9月10日からついに、アメリカでの学校生活が始まりました！

給食、遠足、体育の授業に宿題にパー

ティ。あれこれ違う学校生活の始まりと、どうやら旅行じゃないと気がついたカズキの様子は、また来月に書かせていただきます。

——映画紹介——

「フィクサー」（2007年120分）

大企業の集団訴訟を巡る陰謀劇と、裏の消し屋「フィクサー」の苦悩に迫る社会派サスペンス。滞在中の2008年2月のアカデミー賞にこの「フィクサー」がノミネートされ、地元紙は盛り上がっていました。

サロンの

# 一筆箋

一冊一〇〇枚綴 一五〇円

＜サロン・あべの＞の活動資金調達にご協力ください。

## 美智子のこんな話

岸田美智子

### 住吉区アクションプラン報告

8月は、高齢・障害者部会はお休みでしたが、府・教育センターでの、大阪府立の支援学校や中学校の生活科学（住居・福祉）の担当教職員研修会に参加させていただきました。そのテーマは、「誰もが住み良い、福祉のまちづくり」住吉区アクションプラン「トイレ貸ししますマップ」の取り組みから学ぶ一でした。

当日は1日がかりのプログラムで、班に分かれ実際に先生方が車いすに乗り、町の中をチエックして回る実体験の研修があり、その後、気がついた町づくりの課題点を地図に書き込みながら、各班で発表してもらいまし

た。その発表は、2つのコースに分かれて体験してもらったものですが、各班それぞれまとめ方や、問題点に個性があり、その発表の仕方にも、さすがに慣れておられるので、わかりやすいと思えました。中には、余暇についても課題があるか、という視点で、パチンコ屋さんの中まで車いすで入っていき調査してくれた班もありました。この発表の後、「トイレ貸します」運動を始めたきっかけや、目的などを提起しました。先生方の感想としては、生徒に授業で車いすの扱い方は説明したことはあるが、実際に車いすに乗ったことはなかったため、とてもよい体験ができたという感想が多かったです。

そして、9月の高齢・障害者部会では、小中学生向け、大阪市地域福祉学習リーフレットなど企画・作成応募することになり、その内容を話し合いました。

いろいろな案が出たのですが、たとえばエレベーターに乗るときにボタンを押してあげることからスタートして、福祉のことを考えていく、というちょっとしたきっかけ作りから入るか、地域にはいろんな資源があり、高

齢者・障害者のグループホームや日中活動の場などの施設があり、その中の入居者の暮らしをDVDでまとめて紹介し、その後で当事者である高齢者や障害者が自分の暮らしや問題点などをしゃべってもらうミニ講演会をセットで考えてはどうか、などという案ができました。次回の定例会までに事務局の方で、この日の意見を元にまとめてもらうことにしました。

## 童謡絵はがき

■5枚1組 ¥180

ありがとうございます。

カンパ、はがき・お茶・お茶菓子のご寄贈、また、サロングッズのお買い上げなどありがとうございます。

カスターネット（松村美鈴）、秋山紀美子、岡賀寿子、奥田久子、河野勝行、小西京子、坂上恵子、澤田妙子、中西桂子、平岡太、藤岡徳充、森輝代、その他の方々（敬称略）





11月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いしませんか。

#### ■「サロン淀川」11月の出会い

日 時：11月15日（日）午後1時～4時  
内 容：歌体操からコミュニケーションが始まる  
- 体力の衰えた人や障害をもつ人もお互  
いに助け合いながら一緒に楽しめる歌体  
操 = 市民フォーラムおおさか09協働事  
業に参加しています

場 所：淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3

会 費：なし

問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー  
ロー）〒532-0005 淀川区三国本町  
2-14-3 ☎06-6394-2900

E-mail : sorajii@iris.eonet.ne.jp

#### ■「サロン・にし」11月の出会い

日 時：11月14日（土）午前10時～12時  
内 容：車いす利用者の生活について学ぼう！

場 所：西区在宅サービスセンター「にしがほり」  
大阪市西区新町4-5-14  
06-6539-8075

会 費：なし

問い合わせ先：宮脇淳

☎090-3949-6973

#### ■「サロン・にしよど」11月の出会い

日 時：11月28日（土）午後1時30分～3時30分  
内 容：「ウイスキー工場」の見学記  
場 所：未定  
会 費：なし

問い合わせ先：中本 ☎090-9864-9678

#### ■「ウイズ東淀川」11月の出会い

日 時：11月8日（日）午後1時30分～3時30分  
内 容：未定  
パネラー：未定

場 所：NPO法人自由空間クラブ  
大阪市東淀川区淡路5丁目

会 費：なし

問い合わせ先：鈴木昭二

☎06-6340-3082

FAX06-6340-3012

#### ■「サロンいたみ」11月の出会い

日 時：11月7日（土）午後2時～  
内 容：カントリーポップス・ライブ～

---

日 時：11月21日（土）午後2時～  
内 容：秋祭り、ワッショイ！（創作ダンス）  
出 演：グループ「かすみ草」

場 所：伸幸苑 伊丹市寺本町6-150

連絡先：安藤れい子 ☎072-784-1718

晴れのち晴れ-133-

稲垣恵雄

■秋の七草

10月といえば「秋の七草」を思い浮かべる。秋の七草とは次の7つである。

ナデシコ、フジバカマ、ハギ、クズ、  
キキョウ、ススキ、オミナエシ

この秋の七草は、万葉歌人の山上憶良が健康と長寿を願って決めたと言われている。秋の七草と言われるが、ハギだけが落葉低木である。

山上憶良は万葉集の中でこんな歌を詠んでいる。

萩の花尾花葛の花なでしこの花  
また藤袴朝顔の花

秋の七草はなかなか覚えられないが、山上憶良のこの歌を頭に入れておくといつまでも忘れないと思う。なお尾花とはススキのことで、朝顔とはキキョウのことである。

ちなみに春の七草とはスズナ、スズシロ、ホトケノザ、ゴギョウ、セリ、ナズナ、ハコベである。毎年、1月7日には1年間の健康を願って七草がゆを食べる習慣はあるが、秋の七草はそんな習わしはないようだ。

私は秋の七草では特にハギが好きである。ハギの葉は重なるように繁り、紅色や白色の花が咲く。この花はマメ科の低木だが、高さは1.5メートルに達する。こんな可憐で魅力的な花だけになおさら心ひかれるのである。



寄りみち



■童謡♪絵はがき・あの町この町。この歌は大正13年に発表されました。何かの事情があって家に帰りたくない、帰れない子どもがわが家を離れて一本道を歩いています。そして空が茜色に染まり、薄暗くなった夕暮れ時、今まで見えていた物が見えにくくなって、だんだんと星が輝き出す時間、逢魔時(おうまがとき)。内心「今きたこの道 かえりゃんせ かえりゃんせ」とささやくのですが、子どもの心象としては心細く、寂しいものがあるようです。しかし中山晋平の作曲は哀しい調子ではなく、わらべうたや民謡の音階や節回しを取り入れ、弾みをつけて演奏・歌唱しているので、寂しくはあるが、心に温かな歌になっています。(石)

<サロン・あべの>VOL.280 発行:平成21(2009)年10月17日 定価¥100  
編集人:<サロン・あべの>運営委員会 表題:中西利香・筆 文中イラスト:石田美禰子  
事務局:〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座:サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷:セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
ホームページ: <http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/> 「サロン あべの」でも検索できます